# 一般社団法人飯塚青年会議所 2026 年度 基本方針

アカデミー委員会
委員長：長沼信勝

| 【事業計画】 | 【年間事業フレーム】 |
|---|---|
| ●Let’s TRY・4・VISION ふるさと Wish 飯塚市～彩ろう、ユニークな未来～事業 | No.22 |

（理想像）
遊休資産の Re:活用を通して、多様な人が交わり、彩りと温もりあふれるまちの賑わい創出を目指します。

（調査・研究方針）
1. 委員会メンバーや今後協力をお願いする方々との共通認識を持つために、本事業における遊休資産の定義付けをします。
2. 遊休資産の活用事例を調査します。それらがどのように Re:活用されているのか、利用の対象者や利用者の年齢層、立地等を必要に応じて調査し、Re:活用する遊休資産選定の参考とします。
3-(1). 公共施設における遊休資産を把握するため、行政・自治体にヒアリングを行います。また国や県が所有する遊休資産が存在する可能性もあるため、行政・自治体が運営するポータルサイトや公示する売却情報等を調査します。
3-(2). 公共施設以外の遊休資産を把握するため、飯塚市内に生活（衣・食・住）の基盤を置く方々にヒアリングを行うと同時に、飯塚のまちを自らの足で調査します。
4. 上記 1～3 の調査にて、Re:活用の対象となる遊休資産を絞り込みます。
5. Re:活用の対象となる遊休資産が遊休資産となった経緯を調査します。
6. 事業の持続可能性を目指すため、空きスペース・空きテナントの管理や交流施設の運営等を業務委託されている企業・団体を優先して調査します。
7. 一般社団法人飯塚青年会議所（以下、飯塚 JC）が地域のステークホルダーの皆さまと共に歩んできた歴史を学び、遊休資産の Re:活用ではどのような方々と事業を共にできるのか、またアカデミーメンバーをどう巻き込めるのか検討します。

| 【事業計画】 | 【年間事業フレーム】 |
|---|---|
| ●創立記念式典の企画・工夫を凝らした動員・実施 | No.27 |

（理想像）
1. 創立 73 周年を迎える記念式典の運営を、組織の縦と横だけでなく垣根を越えた協力で執り行い、飯塚 JC 全体の組織力向上を図ります。また飯塚 JC の歴史への感謝とともに、飯塚 JC 関係者との交流を通して、新たな気づきが生まれる機会の創出を目指します。
2. ブラザーシスター制度を活用し、アカデミーメンバーと飯塚 JC 関係者の交流の架け橋となることを目指します。

（調査・研究方針）
2026 年度の創立記念式典をどのようなテーマで行い、どのような特色を反映させるか検討するため、以下の調査・研究を行います。
1. 創立 73 周年記念式典への想いを飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
2. これまでの飯塚 JC の歩みを深く知り、感謝する場とするため、歴代の事業担当委員長の報告議案を調査したうえで、不明な点のヒアリングを行います。
3. 諸先輩方と現役メンバーとの交流の理想形を追求するため、飯塚 JC 関係者へヒアリングを行います。
4. 飯塚 JC はなぜ毎年創立記念式典を催すのかという視点で、これまでの経緯や他 LOM（青年会議所）との違いを調査するため、飯塚 JC 関係者や他 LOM（青年会議所）にヒアリングを行います。また調査結果を飯塚 JC メンバーへ共有することで、創立記念式典への動員に繋げます。

| 【事業計画】 | 【年間事業フレーム】 |
|---|---|
| ●ブラザーシスター制度の確立とモニタリング | No.6 |
| ●ブラザーシスター制度の実施・アカデミーメンバー（正会員）の育成 | No.7 |

（理想像）
現役メンバーとアカデミーメンバー相互の成長を通して、地域のリーダーの育成に寄与することを目指します。

（調査・研究方針）
1. ブラザーシスター制度を策定する前段階として、2025 年度のメンターメンティ制度の実施状況と反省点を引継も兼ね、担当委員長にヒアリングを行います。
2. 準会員がアカデミーメンバー（正会員）となるまでに、制度の具体的な運用方法を策定します。また策定するにあたって、直近 3 年間で退会者の少ない他 LOM（青年会議所）にアカデミーメンバーの育成方法等をヒアリングします。
3. ブラザーシスターの組み合わせ検討に適したツールがないか、多数の社員が在籍する大企業を調査します。
地域のリーダー輩出のため、以下 2 点に配慮した運用方法を策定します。
4-(1). 全てのアカデミーメンバーに対して同じ育成をするのではなく、各アカデミーメンバーの個性を把握し、それぞれに適した育成方法を考えます。また活動初期は、長所をいかした活動ができるように配慮します。
4-(2). アカデミーメンバーの主体性を促すため、現役メンバーは基本的に見守り役に徹し、指示を待たず、自ら考え行動できる力を育みます。
制度の実施状況をモニタリングし、課題と原因の調査を以下の方法で実施します。
5-(1). ブラザーシスターの組み合わせごとにフォローアップする機会を定期的に創出します。
5-(2). ブラザーシスター制度を運用する現役メンバーのみの場、アカデミーメンバーのみの場を設け、困りごとの洗い出しと解決方法を考えます。
5 については推進議案にて適宜報告を行い、1 年間を通した更新・改善を通して、制度の確立を図ります。

| **【他事業計画】** | **【年間事業フレーム】** |
|---|---|
| ●例会アワーの設営及び運営 | No.11,14,16,19,21 |
| ●飯塚 JC 全体で取り組む会員拡大 | No.31 |
| ●飯塚 JC で支える山笠運営 | No.33 |

**【委員会運営】**
スローガン：メリハリ！！やるときゃやる。休むときゃ休む。

（委員会運営方針）
　私が飯塚 JC の一員になってから、まもなく 2 年が経とうとしています。まだ 2 年です。長年在籍されている先輩方からすると、そんな JC 歴が浅いやつに委員長という役が務まるのか。そう思われる方々もいらっしゃるかもしれません。ごもっともです。しかし、たとえそのようなご意見があったとしても、委員長という職を受けたからには、もうやり切る覚悟しかありません。1 年後、事業が成功しているのか失敗しているのかなんて、誰にもわかりません。ただただ私自身、ブレることのない信念を持ち、自らが率先してまちの課題と向き合い、なおかつ楽しんで行動したいと思います。
　今回のアカデミー委員会は、委員長、副委員長含め 8 名で活動開始します。皆、事業を営んでおり、息つく暇もない中ではありますが、事業を成功させるために、委員会全員の力を結集させましょう。また時間の許す限り、この若輩者に委員会全員の知恵と力を拝借させてください。
　最後に、地域活性化の 3 要素として、よそ者、若者、馬鹿者という言葉があります。外側からの視点、未来を見据えたアイデア、常識にとらわれない発想で、私は 2026 年度飯塚 JC の活動を盛り上げいきたいと思います。
以下に、私の活動方針をまとめます。
1. 委員会開催スケジュールは、遅くとも 2 ヶ月前にはスケジュール調整し、公表します。
2. 効率的な委員会活動に努め、メリハリつけた JC 活動を心がけます。
3. 事業が成功しても失敗しても、とやかく言いません。私自身、楽しみます。やりがいある事業にします。
そのうえで、以下を委員会運営方針にします。
1. 月に最低 2 回の委員会を実施します。（準備を徹底し、会議時間の短縮を図り、また終了時間をあらかじめメンバーに伝え委員会に参加しやすい環境作りを行います）
2. 月に 1 回程度、委員会後に懇親会を実施し、交流を深めます。
3. 満足度向上のため、過程よりも成果にこだわります。またやらされるではなく、皆でやり切ることを目標に、心がワクワクする委員会運営を行います。

# 一般社団法人飯塚青年会議所

## 年間事業フレーム

| No | 運動 事業名 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 全国大会（佐賀） | 世界会議（チュニジア） | | 京都会議（京都） | | | | | ASPAC（新潟） | サマコン | | | 全国大会（神戸） | 世界会議（クラーク） | |
| | | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W | 1W 2W 3W 4W |
| 1 | 会員拡大へつながる入会候補者との交流事業 | 調査 研究 | | | | 協議 | 審議 | パートナー団体打合せ | 実施 検証 | 報告 | | | | | | | |
| 2 | 持続可能な会員拡大の仕組み化と見える化 | 調査 研究 | | | 仕組確立 | 実施 検証 | | | | | | | | | | | 報告 引継 |
| 3 | 候補者情報の収集とリストのアップデート | 調査 研究 | | | 仕組確立 | 収集 | | | 検証 | 収集 | | | 検証 | 収集 | | | 報告 引継 |
| 4 | 準会員へのオリエンテーション | 調査 研究 | | | 準会員へのオリエンテーションの実施 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | VOICEの発刊 | | 2026年度作成担当者打合せ | | 調査 研究 | | | | | | | 2027年度作成担当者打合せ | | ﾄﾞﾗﾌﾄ準備 | ドラフト作成 校正 報告 | | 校正完了 引継 |
| 6 | ブラザーシスター制度の確立とモニタリング | 調査 研究 | | 制度の策定 | | 制度の策定 準会員の調査 | | | ブラザーシスター制度のモニタリング ブラザーシスター制度のブラッシュアップ | | | | | | | | 制度確立 引継 |
| 7 | ブラザーシスター制度の実施 アカデミーメンバー（正会員）の育成 | 調査 研究 | | | | 現役メンバーへ制度の周知 | | | ブラザーシスター制度の実施 アカデミーメンバーの育成 | | | | | | | | 引継 |
| 8 | 厳粛かつ有意義な式典の企画 設営 実施 | 調査 研究 | | | | 例会式典の企画 設営 実施 | | | | | | | | | | | 引継 |
| 9 | 厳粛かつ厳正な総会計画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 調査 研究 | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 報告 |
| 10 | 予算及び決算等の会計業務 | 引継 | 当初予算 特別会員 | 三大行事特別会計 各種大会登録分担金 | | 修正予算 | 予算の執行 | | | | | | 補正予算 | 予算の執行 | | | 決算 |
| 11 | 1月例総会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | | | | | | |
| 12 | 2月合同例会の企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | 第2エリア 連携 調整 | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | | | | | |
| 13 | 3月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | | | | |
| 14 | 4月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | | | |
| 15 | 5月公開例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | | |
| 16 | 6月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | | | |
| 17 | 7月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | パートナー候補 打合せ 現地調査 | | | | | | 討議 | 協議 | 審議 | 事業準備 広報 | 実施 | 検証 | | 報告 パートナー報告 | | 引継 |
| 18 | 8月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 | |
| 19 | 9月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | 引継 |
| 20 | 10月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 |
| 21 | 11月例総会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施 | 調査 研究 | | | | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 検証 報告 引継 |
| 22 | Let's TRY 4 VISION ふるさとWish飯塚市 ～彩ろう、ユニークな未来～ 事業 | 調査 研究 | | | | 企画 立案 | | | | 協議 | | | 審議 | 事前準備 | 実施 | 検証 | 報告 |
| | | ビジョナリーシティ会議 引継 | | ビジョナリーシティ会議 | | | | | | | | | | | | ビジョナリーシティ会議 引継 | |
| 23 | まちの魅力創新「かまの変」プロジェクト | | | | | | | 討議 | | 協議 | 審議 | | | 実施 | 検証 | | 報告 |
| | | 課題調査 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 事業目的の確立 | パートナー団体 具体的な打合せ 事業手法の確立 | | | | 事業準備 広報 | | | | パートナー報告 | |
| 24 | こどもはこのまちの未来だ！宣言 「桂川の虎」の巻事業 | | | | | | 討議 | 事前活動 | | | 協議 | 審議 | | 実施 | 検証 | 報告 | |
| | | 課題調査 | | | | 事業目的の確立 | | | 事業手法の確立 | | | 事業準備 | | | | パートナー報告 | |
| 25 | 国際的ネットワーク創新事業 | | | | | | | | 討議 | 協議 | 審議 | | | 実施 | 検証 | | 報告 |
| | | パートナー候補 打合せ 現地調査 | | | | | | | | | | 事業準備 広報 | | | | パートナー報告 | |
| 26 | 新春祝賀会の企画 工夫を凝らした動員 実施 | 参加者リスト作成 会場打ち合わせ | | 招待状作成 発送 | 準備 リハーサル | | | | | | | | | | | | |
| | | 企画立案 議案作成 | | 協議 案内状 繰上審議 | 審議 | 実施 | 検証 | 報告 | | | | | | | | | |
| 27 | 創立記念式典の企画 工夫を凝らした動員 実施 | 引継 | | 調査 研究 | | | | | 協議 | 審議 | 事前準備 | 実施 | 検証 | | 報告 | 引継 | |
| 28 | 忘年会の企画 工夫を凝らした動員 実施 | 調査 研究 | | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 準備 | | 実施 | 検証 報告 |
| 29 | 各種大会(ASPAC、世界会議除く)への参加促進 企画 運営 | LOMメンバーの各種大会 周知 参加意識調査 | | 京都会議参加者募集 アナウンス 各種手配 | 京都会議 | | | サマコン 調査 | | サマコン参加者募集 アナウンス 各種手配 | 全国大会 調査 | サマコン | 全国大会参加者募集 アナウンス 各種手配 | | 全国大会 | 引継 | |
| 30 | ASPAC、世界会議への参加促進 企画 運営 | | | | | ASPAC調査 | | ASPAC参加者募集 アナウンス 各種手配 | | ASPAC | | 世界会議 調査 | | 世界会議参加者募集 アナウンス 各種手配 | | 世界会議 | 引継 |
| 31 | 飯塚JC全体で取り組む会員拡大 | 持続可能な会員拡大の仕組み実施 候補者情報の収集提供 ブラザーシスター制度のモニタリング実施 協力依頼 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 飯塚JCの魅力を発信！SNSやHPによる広報活動 | 調査 研究 | | | | SNSやHPによる広報活動 | | | | | | | | | | | |
| 33 | 飯塚JCで支える山笠運営 | 山笠担当者 連絡調整 会議等への協力 | | | | | | | | | | 実施 | 山笠担当者 連絡調整 会議等への協力 | | | | |